

1 日 時 令和4年2月8日(火) 9:40~10:30

2 場 所 青森県立大湊高等学校会議室

3 出席者 (12名)

(1) 学校評議員(4名)

学校評議員A(教育に関する理解及び見識を有する。本校卒業生)

学校評議員B(教育に関する理解及び見識を有する。元PTA会長)

学校評議員C(教育に関する理解及び見識を有する。元PTA副会長)

学校評議員D(本校の通学区域内にある町内会で熱心に活動をされている。本校卒業生)

(2) 本校教職員(11名)

校長、教頭、事務長、教務部主任、生徒指導部主任、進路指導部主任、総合学科部主任、
1年次主任、2年次主任、3年次主任、教務部員(記録)

4 欠席者 なし

5 配布資料

(1) 令和3年度学校評価アンケート結果

(2) 令和3年度分掌・年次 経営計画・年間計画・評価

(3) 令和3年度進学合格先、公務員・就職内定先一覧

(4) 令和3年度部活動戦績一覧

(5) 分掌・年次通信等(2学期分)

(6) 新聞で見る大湊高校の活躍

6 議事内容(進行:教頭)

(1) 開会

(2) 校長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今年度を振り返ると、統合の問題があり、また新型コロナウイルス感染症対策のため我慢を強いることもあったため、大変ではないかと心配されたこともありました。生徒・教職員は精一杯頑張り良い状態で過ごしていたように思います。様々な制約がある中でも、行事をいかに安全にできるかを各分掌で考えて頂き、可能な限り、オンラインでの対応を含めて大学の講義を受けるなどの外と繋がる機会を設けました。部活動も制限のある中で必死にやりました。これ以上のことはもうできないと思います。そのぐらゐ生徒も教職員も必死に取り組んだ1年であったと思います。ただ、未熟な点も数多くあると思いますので、本日は様々な話を聞いたうえで、御指摘していただければと思います。

全体としては、目標に掲げた「生徒の主体性」をもつこと、自分で責任をもって選択し、何事も自分事として自分の人生を送る生徒を育てたいと思い、様々な取り組みをして参りました。授業

や課題研究を通してそのような生徒を育てたいと考えており、まだまだ道半ばではありますが徐々にそのような雰囲気が醸成されてきているように思います。先生方には生徒の指導に専念できる環境をつくりたいと思い、様々な業務改革を行いました。ICTでできるものは大半をそれに移行しています。また、学校内の整理も行い、1トン程度の物を廃棄しました。また、無駄な男女別の統計や捺印を廃止しました。部屋の施錠も必要な場所以外はやめ、常に開けておくようにしました。放課後に実施していた会議も可能な限り時間割の中に組み込み、面談スペースを確保して生徒と気軽に面談や個別指導をできる環境を整えました。今話したのはごく一部ですが、様々な改革をする中でも混乱が多くありましたので、現在先生方と面談をして、変えた結果どうだったか、他にも変えるべき点はないかを聞いています。このように学校を変えても、依然として勤務時間は長いので、それをどのように改善するかが来年度の課題と考えています。

様々な意見をもとに、学校運営に活かし、我々教職員がこれから勇気・元気をもって勤務をできるように努めたいと思います。本日はよろしくお願ひします。

(3) 令和3年度の本校教育活動について

① 学校評価アンケート結果について（教務部主任）

今年度は10月に第1回の学校評価を行い、その結果を受けて教育活動を実施しました。1月に実施した第2回学校評価の結果は教育活動の成果が反映されているので、第2回の学校評価の結果について主に話をします。

表の見方について、生徒・保護者・教職員とも真ん中にある「第1回0割合」「増減」に関しては、「0」の「分からない・回答不能」と答えた人数の割合を、第1回のもものと比較しています。例えば、1ページ目の生徒対象の項目「1 大湊高校の取組や、年次の取組についての説明はわかりやすい」の項目については、0と答える人数の割合が第1回から比べて上昇したということです。0と答える人が増えることは、評価として問題であると考えています。全体として0と答える割合は少なくなっていますが、高くなった項目については注意が必要と考えています。また、表の一番右については、第1回の評定値と比較して、0.1以上の差があったものを矢印で表示しています。

評定値が3.0を下回るもの、生徒用の項目でいえば4, 8, 11, 12, 20について学校として対処していきたいと考えています。ちなみに、生徒用の16の項目は数値が消えていますが、20.9となります。保護者用の項目では、1, 2, 3, 7が3.0を下回っていますが、いずれの項目も年次が進むにつれて数値が高くなっています。低い年次ほどに学校としての考えが伝わっていないと考えているので、どうすれば伝わるかを学校として考えていきたいと考えています。教職員対象のものについて、数値の低い項目の対策を立てるとともに、教職員間での情報共有をきめ細やかに対応していきます。また、保護者からの自由記述をまとめたものについて、各分掌から回答を頂いております。

② 各分掌・年次の評価（1月末現在）について（各分掌主任）

ア 教務部

概ね目標は達成できたと思います。来年度に向けた課題として、1番目の項目に関して新学習指導要領に向けた対応をすること、また総合学科として、生徒の自主性を育むことや進路に対応するため、選択科目を充実させたいと考えています。また、3番目の項目について、課題研究や部活動など、外部との連携・外部人材を活用し教育活動をより一層充実させていきま

す。4番目の項目である業務の効率化については、働き方改革として教職員が勤務時間内で業務を終えられるよう対処していきたいと思います。

イ 生徒指導部

この1年間はコロナ対応が必要な状況でしたが、生徒の頑張りに助けられたと思います。様々な工夫をしながら、目標を達成できたように思います。生徒の状況について、生徒間での細かいトラブルは依然としてあり、悩みを抱える生徒が年々増えてきていると感じています。他の教職員と連携し、教育相談を学校全体で取り組んでいく必要があると思います。学校行事について、コロナ対策のために様々な制約のある中でも生徒や教職員の協力を得て中止にすることなく実施することができました。今後も様々な工夫をして実施しなければならないと考えています。コロナに対応するためにも考え方を換え、元に戻すのではなく新たに作り出すということに挑んでいかなければならないと思います。情報共有については生徒の指導に必須であるので、毎週の分掌会議で時間をとっており、今後も引き続き丁寧に対応していきたいと思います。

ウ 進路指導部

講習や進路の見学会について、オンラインでの実施や日程の短縮と思うような実施はできなかったものの、生徒は一生懸命に頑張り第一志望へ合格できたと思います。推薦（総合型、学校推薦など）に対する面接・志望理由書・小論文は全教職員で指導をするという目標について、多くの先生方の熱心な指導により生徒に良い刺激を与えられたと思います。就職のミスマッチについて、オンラインでの面接に指導を強化していきたいと考えていますが、オンラインでの対応（機器の準備等）ができる先生に限られており、その先生への負担が大きくなることから、機器の取り扱いについて研修をし多くの先生が対応できるようにしなければならないと考えています。教員の指導力向上について代ゼミをはじめとする予備校の研修会をオンラインで実施しました。進路決定状況（2月1日現在）の資料について、進学と就職の割合は例年通りで、進学の一般入試に向けた対策を実施中です。就職について、管内14人、県内5人と年々県内を希望する生徒が多い傾向です。民間は残り1名、進学は残り20名弱となっているので、引き続き指導している最中です。

エ 総合学科部

総合学科部は研修、探究活動、図書館の運営が主な業務です。図書館の運営について、校内で果たせる役割が多くあるので今後検討をしていきます。最も力を入れて取り組んだのは探究活動に関して針路学（総合的な探究の時間）および産業社会と人間です。全国的に多くの学校が、社会に出て探究活動をさせ、生徒が自ら主体的に課題を発見し解決する力を養う形で実施しています。本校でも、生徒が主体的に活動できる方法を模索し、社会に出て探究活動を進めていきたいと考えています。

オ 1年次

凡事徹底をスローガンとしました。先日、生徒と話をした中で、この「当たり前のことを当たり前にする」ことについて聞いたら、難しいと答えたものの、この「凡事徹底」が難しいと理解すること自体が成長だと感じています。入学当初はとても幼い印象であったものの、少し

ずつ成長してきていると感じており、次年度は後悔しない進路選択ができるようにサポートしていきたいと思います。年次の先生方をお願いしたことは、面談の実施、それも堅い雰囲気での面談ではなく日頃からの声掛けにより生徒一人一人に気を配ってほしいことです。担任を初めて経験する先生もおり、指導に不十分な場面もあったかもしれませんがこの1年間を乗り切ってきました。2年次の系列選択もほぼ決定したので、来年度に向け学習面、生徒指導面、進路指導面等で信頼関係を構築していきたいと考えています。

カ 2年次

概ね学習指導面、生活指導面、進路指導面について達成できていると思います。学習面においては基礎力向上の段階から切り替えて、進学や就職に向け指導します。意識が低く、その日を漠然と過ごすような生徒もいるので、気づきを与える指導をしていきます。進路活動の参加について意識を高めていかないといけないと考えています。また、進学・就職のために、自分をどう役立てるかを考えさせていきます。

キ 3年次

3年次では進路目標達成が最重要課題であるので、1年次から取り組んできました。この年次は学力の他にも、家庭環境、生徒個々の問題を抱えた生徒への対応をしてきました。2年次では基礎学力の向上、3年次では進路希望達成に向けて取り組んできましたが、進路の多様性に対応するため、現在は学力以外の力も求められていると感じます。部活動やボランティア活動への参加、学校行事、総合的な探究の時間など、何事にも一生懸命取り組んだ生徒は面接ではっきりと答えられ、小論文でも明確な答えを書けているように感じます。それが不十分な生徒は苦勞している印象を受けましたが、第一志望に不合格となっても失敗から自分なりに学んで第二志望の合格を叶えた生徒もいるので今後の成長に期待をしています。大湊高校に入学する生徒は、学力をはじめとした様々な能力に差があるため、学習指導や進学・就職指導等特定の力に長けた教員による指導が必要になると感じています。進路指導などで多くの先生の力を借りて指導してきましたが、3月31日には全員の進路が決定することを目標に指導していきます。

ク 事務部

学校評価の結果を見ると、教育環境の整備および安全確保の評価が低かったため、来年度は校舎内外の整備や清掃方法を検討し改善に努めます。また、来年度から生徒1人につき1台のタブレット（本校はiPad）が使用できるようになるので、それを使用するうえで何が必要かを調査し、生徒および教職員が十分に使用できるよう教育環境の整備に努めます。

(4) 学校評議員からの質疑および提言

① 学校評議員A

送付された資料を見て、先生方の仕事の量が多かったです。教員数の不足を現在全国的に聞きますが、大湊高校もそうではないかと思います。働き方改革と言われますが、規則や職務命令よりも先生方が共通の思いを持って生徒の指導をしてほしいと思います。とはいえ、今までのやり方を否定するのとついでにこないこともあるので、どうすればよいかは一緒に考えていきましょう。

近年、ラインやショートメールなどの手段で連絡がされており、またむつ市では youtube により市長の会見を流していますが、高齢者からは見られない、使いこなせないと評判がよくありません。人と交わること、相手と話をする場面が必要であると感じています。

学習により思考力を育み、柔軟性を身に付けることが必要であると思います。難関とされる企業に就職する場合は入ってから必要とされるので、希望する生徒へ手助けをして頂きたいと思っています。

② 学校評議員 D

管内および県内就職が増えているとのことですが、大学卒業後に管内に戻り就職した人は何人いるのですか。

(進路指導主事) 調査はしておりません。個人情報に触れることもあり、調査は難しいと思われます。

私自身、本県出身の大学進学者のUターン就職に携わる仕事をしています。むつ市内で、大学卒業後に地元就職する学生を採用したいと思う企業は多くあります。奨学金制度について保護者に是非とも伝えてほしいと思います。また、賃金的な面では都会には劣りますが、地元就職のよさについて広めてほしいと思います。

インターンシップについては大湊高校では実施していますか。

(進路指導主事) 本校では7年前までは実施していました。

介護関係は今後必要とされると思いますので、今後その関係でのインターンシップを検討して頂きたいと思います。

学校評価の自由記述へ、保護者へ情報が伝わらないという内容がありました。学校と家庭の関係がこじれると大変なことになるので、学校の真意を保護者へ丁寧に伝えてほしいと思います。

③ 学校評議員 C

先生方の仕事について、自分自身が幸せでないと周りを幸せにすることはできないと思いますので、先生方にはワークライフバランスを考え、余裕を持って生徒に接してほしいと思います。

18歳成人制について、本来では家庭で教えるべきことですが学校でも指導をして頂ければ助かります。

(教頭) 公民や家庭科の授業で、消費者教育(契約関係)などを指導する機会を通じて対応する予定です。コロナ対応のため簡略化されましたが、3年の今の時期に年金セミナーを実施する予定です。

制服について、女子の制服にスラックスを追加する学校が多くあるので検討してほしいと思います。自転車通学への対策や寒さ対策の一環となり、導入してよかったという意見もあるようです。生徒から要望は出ない(要望を出しづらい)と思うので、学校として取り上げてほしいです。

アツギ東北の閉鎖の問題についてです。約500人が職を失い、その中には本校の保護者もいます。中には一人親や、両親ともにアツギに勤務という方もいます。財政制度について分からない家庭が多いと思うので、レクチャーをしてほしいと思います。また、生徒の急な進路変更も考えられると思いますので、きめ細やかな対応をして頂きたいと思います。

④ 学校評議員 A（2回目）

部活動について、強くなるにはオフシーズンをどう利用するかにかかっていると思います。別の学校でスキー部を指導していた際、夏の間のトレーニングはどの部活よりも頑張っていたと感じました。運動部のみならずどの部活動も頑張してほしいと思います。

⑤ 学校評議員 B

先生方の仕事に敬意を払いたいと思います。主役は生徒であるので、文武両道で頑張らせてほしいと思います。

(5) 校長謝辞

本日はありがとうございました。本校への思いがあり、様々御指導いただきありがたいと思っています。何に特化するかを考え、学校運営に活かしたいと思っています。インターンシップについて話が出ましたが、産業社会と人間の授業を利用し、夏休みを使って生徒を企業に出す取り組みを考えています。自分自身が幸せでないと人を幸せにできないということは、本当にそのとおりに感じております。学校の主役は生徒であるので、生徒が輝ける学校づくりをしていきたいと思っています。

(6) 閉会